

一日研の報告

- 1 期日 10月22日
- 2 倉敷労働会館
- 3 参加者 O,MU,CH,YO,AR,AK,KA,TA,NI,HA
- 4 内容
 - 「ごんぎつね」記録 (AK、AR)
 - 「ごんぎつね」解釈 (TA)
 - 運営委員会 (合同例会準備会)
 - 「大造じいさんとガン」記録 (YO)
 - 「大造じいさんとガン」解釈 (HA)
 - 「大造じいさんとガン」戸田映像 (CH)
 - 「本の読み方「人に説明することを前提に読む」」(MU)
 - ブックレット 8 ページ「質問と考えたこと」(MU)
 - 「やまなし」5月 解釈 (KA)
 - 「ごんぎつね」授業映像 (AK)
 - マット運動「カエルジャンプ」映像 (AK)
 - オペレッタ「かさじぞう」映像 (HA)
 - 「側転」映像 (YO)
 - 合唱「大地讃頌」映像 (YO)

子どもたちが本当に考えていきたい課題は何か。教師側に立つのではなく、子ども側に立った上で大問題を設定する。そして、どう聞いたらいいのか。「なぜ」と聞いて子どもから出た予想から整理・分類し、対立問題にもっていくのか。または、原因はどの段落に書いてあるのか聞いて、その段落の文から問題づくりをしていくのか。どう設定するかによって授業展開が変わってきます。記録から大問題の設定、聞き方を学びました。子どもたちは教師が思いもしない発言をします。その発言がどの問題とつながっているのか、どう切り返せばいいのか、どんな対立に組めばいいのか、リアルタイムではなかなか難しいからこそ、記録にとり、地道に検証していくしかないのだと思います。記録から自分に突きつけて考えていきましょう。自分の立ち位置で参加するからこそ見えてくるものがあると思います。

いつも話題になる文と文との関係、問題と問題との関係。学級の問題づくりの質も問われます。まず教師自身がどれだけ良質な問題がつくれるか、今度の合同例会で試されます。

MUさんの、いつも違う角度からアプローチされた資料。勉強になります。自分も分かっているつもりにならず、いつも疑問をもって取り組んでいきたいと思います。文責 HA

映像からは短時間でしたが、体育では何をねらって取り組んでいるのか、次はどこへつなげようとしているのか。オペレッタでは、歌の入り方、歌詞の意味と表現をセットで。合唱からは息の大事さと使い方をそれぞれ学ばせてもらいました。

〇さんと解釈した場面をぜひほんの少しでも記録に残していきましょう。このメモリスを書いている私も顔晴ります。新しい自分が発見できますよ。